

3月は、2週間の春休みがありました。

ホストファミリーの友人家族が家に訪れたり、音楽友達と市の図書館内にある音楽スタジオに行ってみたり、近くの海に遊びに行ったりと毎日活動の範囲を広げています。サマータイムが始まり、先月よりも明らかに日が長くなるのを感じるのと同時に曇り続きだった冬の天気も晴れの日が増えてきました。セメスター2に慣れたこともあってか、セメスター1の頃のルーティンが記憶から薄れてきていることを感じます。

今セメスターでは、英語の授業を二つ受講していて、最初はついていけるか不安でしたが、留学生に理解のある先生のご協力もあり、問題なくやれています。学校で同世代の友達だけでなく、先生方とも交流することを意識して、会話を始めてみると、いつも話が弾み、授業に出ることが楽しみになっています。日本から持参したハイチュウをお渡しすると、パッケージに書いてある文字の話になり、とても喜んでくださいました。また、音楽友達とレコーディングスタジオに行ったことを音楽の先生にお伝えしたところ、「近くにスタジオがあるとは、Nanaimoに長く住んでいる自分でも知らなかった」と驚いていらっしゃいました。学校に通う日も残り3か月を切ったので、一日を噛みしめて生きていきます。

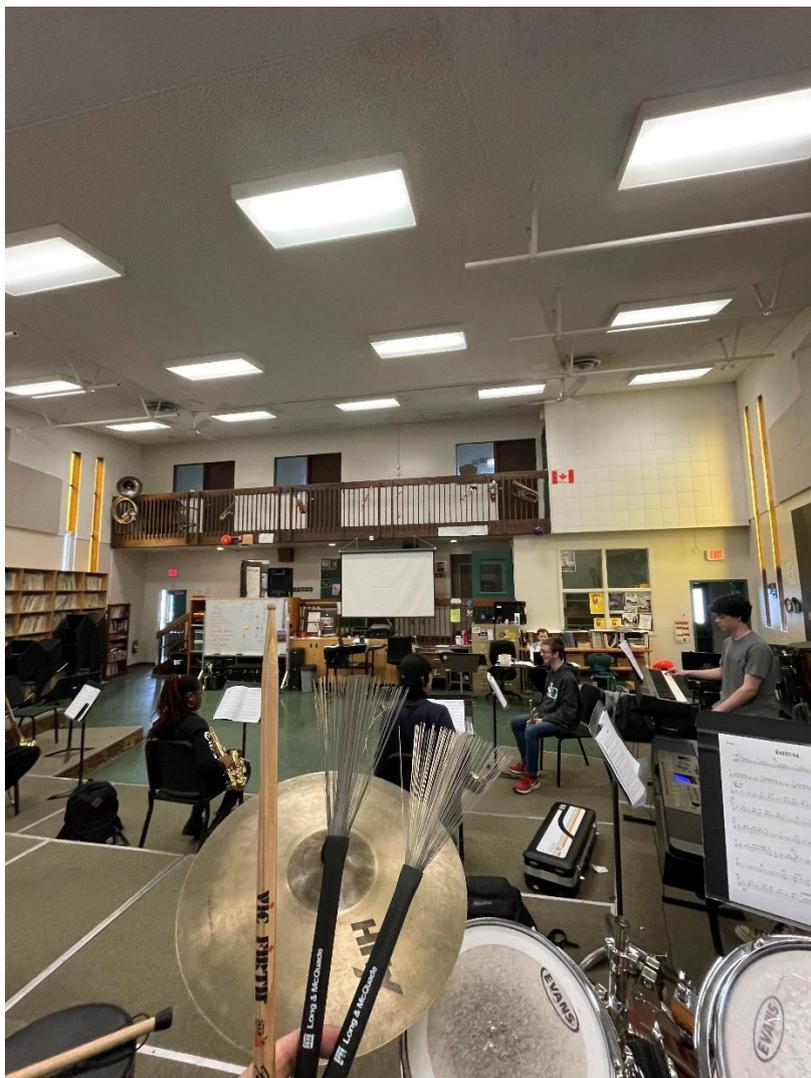
前セメスターで同じ吹奏楽の授業を取っていた、トランペット奏者の友達に誘われ、NDSS Jazz Comboにドラマーとして加入しました。このComboはトランペットの友達リーダーとなって先月作られたクラブで、友達からの招待なくしては入れなかったため、異国の地での人と人との繋がりに感動しています。ジャズはスイングビートという、慣れ親しんだロックのビートとは少し異なる演奏法のため、演奏が難しいですが、早くスイングをマスターし、Comboメンバーとジャズを楽しみたいです。また、今年から加入したボランティア団体のビンゴ大会、ボーリング大会にも招待され、敬語文化がないことも相乗効果となってか、中学生から20代まで学年や年齢を超えた、心の距離を感じない友達が多くできました。

◇

ある日の朝、頬が少し赤く腫れていて、ホストファミリーに相談したところ、病院に連れて行ってくださいました。長い時間並ぶことを覚悟していましたが、案外空いていて、待つことなく診察を受けられました。カナダの病院での診察や薬局での処方箋は、すべて英語であり、「外国の病院で母国語以外の言語で診察を受ける」という珍しい体験ができ、留学に来ているという実感が改めて湧きました。ホストファミリーには、身体の調子が悪い際に支えてくださり、非常に感謝しております。また、その日の午後には、Neck Pointという岬に連れて行ってくださいました。広大な海と岩々からの大自然のエネルギー

一に圧倒されました。

留学の中心となる英語の授業と趣味の音楽の授業を一日中受けられる恵まれた環境を最大限活用し、休日は休息と活動のバランスを調整しながら生活していきたいです。



白鷗高校 14 期生 次世代リーダー育成道場 10 期生 J.J